

編輯室より

- 此の世の中位思ふ通りにゆかぬものはありません。編輯が立派に終つたてやれ明日は印刷所へ廻して、もう四五日もたてば校正刷が廻つて来るであらうと、編輯員各自は吾が兒の生れるのを待つ様に喜んで、編輯室を出てから幾日待つても、校正が来ない。ごうしたかと思れば印刷資の問題で行き留つてゐるのや。いくら編輯員があせつてもさつぱり埒あかぬ。
- さてまづ、一號だけは無事に此の世に生れた。すると印刷所は此の度は非常に力強く而も急追に次の原稿をさ迫つて来た編輯室は困つた。各方面に依頼中の原稿が此度は未だ戴けてない。各方面に急使を走せてまるで子供が親にれだる様にながむだが、仲々駄目である。或は暑中休暇前、諸準備に御忙しい諸先生方に無理強いに御願ひしたのが因をなしたかとも思つたが、然し編輯員各自は第一號の編輯後すぐに諸方面の方々に御依頼申して置いたのであつた。
- それで漸く第二號は七月に出すことが出来た。次の三號は何と云うても九月中旬に編輯して十月早々出すと云ふ編輯室の意氣込みで休暇前から又々活動したのであつた。
- 然るに又種々な事情の爲めに漸く原稿の全部を本日締切編輯し終りたこと云ふ有様である。
- 以上の如き種々なる因と縁とが互に因果の網を編むで、本年の最初には何うしても前年に於ける發行日の遅延をさり返し度いと云ふ希望を以て向ふたのに、それは空しくなつてしま

つた。

□ごうしても第四號が出せなくなつてしまつた結果、又前例に任せて三四合併號とする外路がなくなつて占つた。

□例に任せてごなんか云ふと變ですが、實際何かと云ふとすぐ合併號とやるのが佛敎研究の例になりてしまつた。例と云ふよりも一種の宿痾である様な氣がします。此んな事を告白するは甚だ讀者に對してすまぬ様に思ひますが、此は何も病氣なのですから。病源の何處にあるかを御洞察宥恕して頂きました編輯員一同御願ひする次第である。

□何もこの様な事を申して編輯員がその責めを他へ嫁しようとするのではありませぬ。勿論編輯員はその遅滞の罪を深く自ら懺悔し且つ讀者の御前に謝する次第である。

□最後に次の正月號の豫告を致して置きませう。連續の論文以外に左の方々より御高説の發表を仰ぐ事になつて居る。

(十一月三日記)

- 一、西洋哲學に關するもの 木場 了本氏
- 一、東洋哲學に關するもの 青木 晦藏氏
- 一、他阿上人の法語に就いて 日下 無倫氏